

インド市場への参入戦略と事業拡大

文化的な違いをどう乗り越え、日々発生する問題をどう解決すべきか？



中国経済がスローダウンし、沿岸部の人件費も高騰する中、多くの日本企業が次なるターゲット市場を模索している段階のようです。地理的、心理的に近い東南アジア諸国をターゲットとする企業も多いようですが、市場のサイズという視点では中国ほどのインパクトは期待できないというのが実情です。

そこで今注目を集めている市場がインドです。国連の発表によるとインドは2022年に中国を抜き世界最大の人口を抱える国となり、2050年には約17億人に達すると予測されています。2015年の経済成長率も7.8%と中国の6.9%を上回りました。アジア開発銀行の予想では2016年の成長率は8.2%と予測されており、今後10年間は有望な市場になると考えられています。

しかし、インド市場には多くの困難が待ち受けています。一番大きな問題は、ビジネス文化が日本と比較するとあまりにも違い過ぎるということです。日本の常識からすると考えられないような問題が普通に毎日起こるのです。そして問題に振り回され、営業に全く集中できないというケースも多くみられます。

当セミナーでは、インド市場の魅力と可能性、参入戦略の選択肢だけでなく、アウトソーシングを活用した問題解決策、実際の参入事例について詳しく解説致します。

こんな方にお勧めです！

- ☑ インド市場への参入を検討中
- ☑ インド市場へローコストで参入したい
- ☑ インド市場で日々の問題が多く困っている
- ☑ インド支社がうまく機能していない
- ☑ インドでの売上が伸びない

こんなことが分かります！

- ☑ インド市場の概観と魅力
- ☑ 日系企業の進出状況と事例
- ☑ インド市場の実態と参入戦略の選択肢
- ☑ インドでよく起こる問題と解決策
- ☑ インドと日本とのビジネス文化の違い



M+V JAPAN

〒106-0032 東京都港区六本木5丁目18番23号 INAC ビル4階
c/o フェネトル・パートナーズ株式会社
Tel:03-6697-6430、Fax:03-4496-6035
japan@mv-india.com | www.maiervidorno.jp

M+Vはコンサルティングとアウトソーシングを提供する企業で、今まで400社以上の欧米企業のインド市場参入・事業拡大を支援して参りました。インド国内にはニューデリー、ムンバイ、ブネ、バンガロール、チェンナイに拠点があり、150名が勤務しています。2016年8月より日本オフィスでの活動をスタートしました。

開催概要



日 程: 2016年9月14日(水) 14:00~17:00(開場: 13:30)
主 催: M+V Japan
会 場: インド大使館 Vivekananda Cultural Centre
〒102-0074 東京都千代田区九段南2-2-11
定 員: 100名
参加費: 無料

プログラム

13:30 開場

14:00 主催者ご挨拶

金子 智彦 (M+V Japan 代表)

14:10 インド市場の概観と日系企業の参入事例

西澤 知史 (ジェットロ)

- ・インド市場の概観
- ・インド政府の政策と今後
- ・日系企業の参入事例 等

15:00 休憩

15:10 インド市場への参入戦略と日本企業にとっての課題

マヌーシ・マダチェリ (M+V) *同時通訳有

- ・インド市場の実態 将来性と現実
- ・インド特有の課題と解決策
- ・欧米企業の参入事例 等

16:20 インドのビジネス文化と問題、その解決策

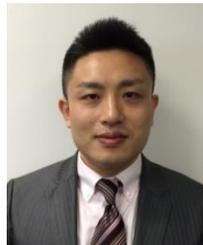
クラウス・マイヤー (M+V) *同時通訳有

- ・インドのビジネス文化 日本との違い
- ・欧米企業はどうやって壁を乗り越えたのか
- ・日本企業にとっての問題点と解決策 等

16:50 質疑応答

17:00 終了

【講師プロフィール】



西澤 知史

ジェットロ本部 海外調査部 アジア大洋州課
2004年入構。国内勤務の後、2011年よりインド・ニューデリー事務所調査部長としてインドの政治経済・投資環境の調査や日系企業からの各種相談窓口を担当。2015年より現職、インドを中心とした南西アジア域内の調査を総括。



マヌーシ・マダチェリ (MANOJ MADACHERY)

M+V コンサルティング部門責任者
インド、ボンダイシエリ出身。インド大学で物理と経営学(MBA)を専攻。15年間の市場調査とコンサルティング経験を有する。2007年よりM+Vにジョインし、調査、コンサルティング、事業開発を統括。現在はバンガロール在住。



クラウス・マイヤー (KLAUS MAIER)

M+V 代表取締役
ドイツ出身。ドイツとスペインで国際経営を専攻し、物流会社へ入社。米国勤務後、90年代よりインドで勤務し、2000年にM+Vを設立、以来約20年間ニューデリー在住。欧米、主にドイツ企業のインド市場参入支援を手掛ける第一人者。

お申込み方法

- 以下のサイトより必要事項をご入力ください。
セミナー1週間ほど前に受講票をEメールにてお送り致します。
* 定員の場合や、同業者の方は参加をお断りする可能性がございます。
* 当日は運転免許証等の顔写真入りの身分証明書を必ずご持参ください。
* セキュリティ上、会場への大きな荷物の持ち込みは禁止されています。

<http://www.maiervidorno.jp/seminar-sep-2016/>

M+V JAPAN

〒106-0032 東京都港区六本木5丁目18番23号 INACビル4階
c/o フェネトル・パートナーズ株式会社
Tel:03-6697-6430、Fax:03-4496-6035
japan@mv-india.com | www.maiervidorno.jp

M+Vはコンサルティングとアウトソーシングを提供する企業で、今まで400社以上の欧米企業のインド市場参入・事業拡大を支援して参りました。インド国内にはニューデリー、ムンバイ、プネ、バンガロール、チェンナイに拠点があり、150名が勤務しています。2016年8月より日本オフィスでの活動をスタートしました。